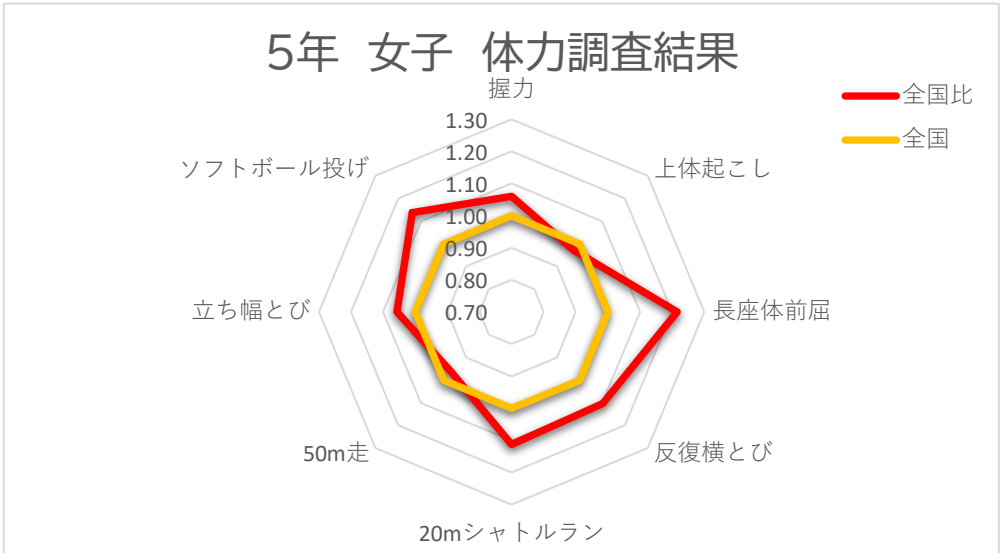
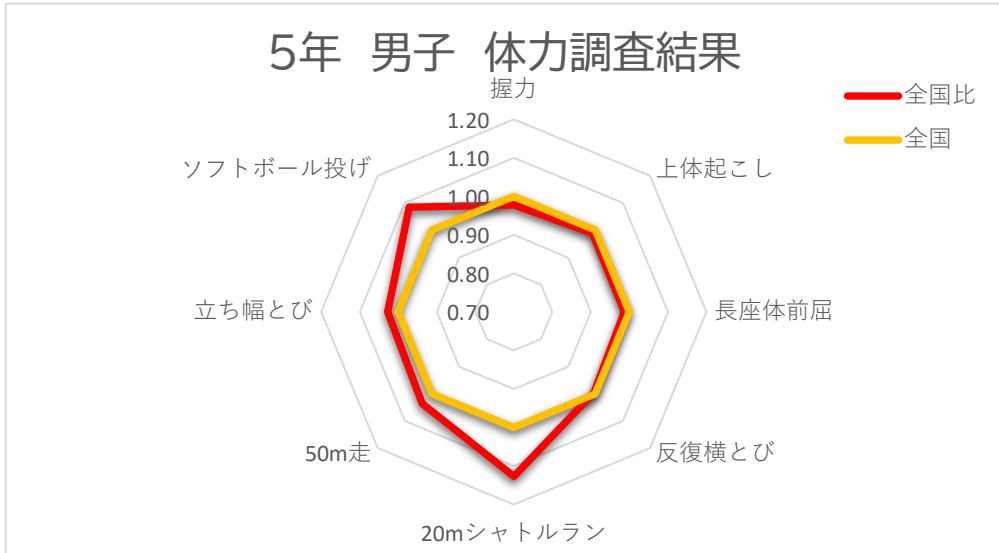
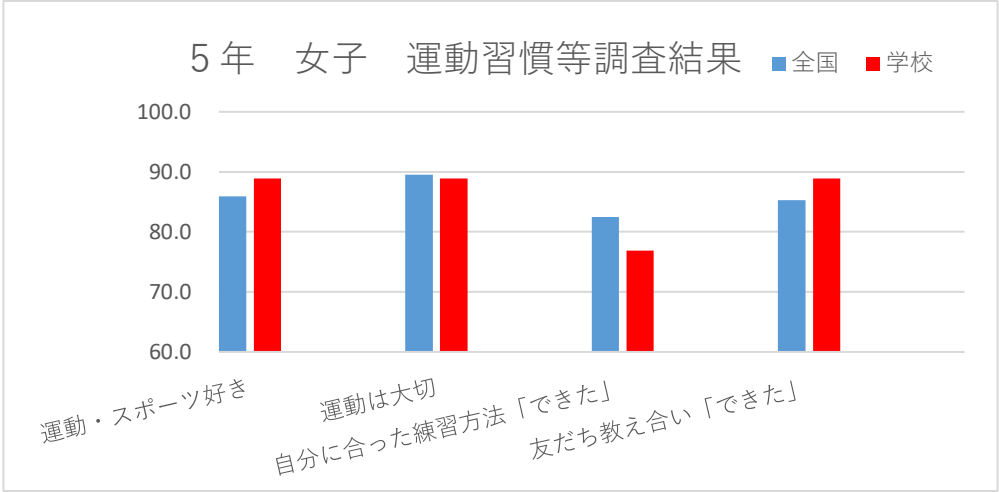
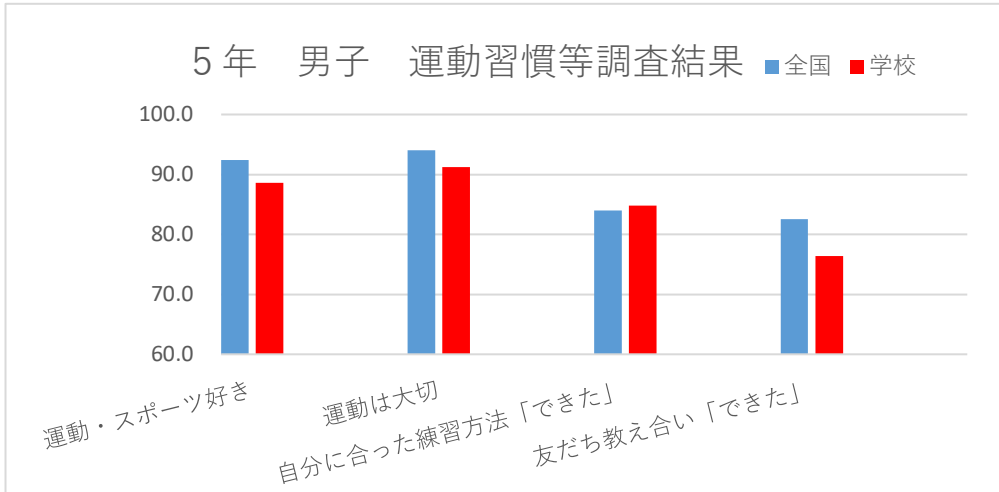


1. 現状（令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より）



※全国の平均値を1として、学校の比を示しています。



※「運動・スポーツが好き」「運動は大切」「体育の授業は楽しい」については、肯定的な回答の割合を示しています。

2. 改善プラン

① 現状と課題

- ・体育の授業に対して、男女ともに肯定的な意見が多い。
- ・男女ともに50m走、上体起こし、反復横跳び、長座体前屈、握力の数値が低く、走力、筋力、柔軟性に課題がある。
- ・全体的に給食の残飯量は少ない。

② 目標・めざす子ども像

- ・体育の授業や学校全体の取り組みを通して、体を動かす機会を作り、運動が好きな児童を増やす。
- ・児童の走力、筋力を高める。
- ・生活習慣や運動習慣を整えることができる児童を育てる。

③ 取組み

取り組み内容	対象学年	取組時期	元気力としての観点			
			体力	保健	生活習慣	食育
月間ならっこ体育カリキュラムを作成し、教職員が指導しやすいようにする。(学年別資料配布)	教職員	通年	○			
校内研修を行う。	教職員	学期に一回程度	○	○	○	○
体育カードを活用し、個人の目標をスモールステップで設定して、達成感を味わえるようにする。	全学年	通年	○			
なわとびカードを作成し、縄跳びの技の紹介ビデオを流す。また、なわとびタイムを実施する。	全学年	12月～1月	○			
マラソンカードを配布し、授業以外でも意欲をもって取り組める機会を作る。	全学年	3学期	○		○	
ラダーやジョギングなどの体づくりの時間を授業の中で計画的・継続的に行う。	全学年	通年	○		○	
体育委員会による体育倉庫の整理整頓を行い、準備の時間を減らし、授業時間を確保する。	全学年	通年	○		○	
養護教諭が保健指導を行う。	全学年	通年		○	○	
給食週間を設け、食への関心と理解を深める。	全学年	1月			○	○